

安全で円滑な交通規制による施工性の向上

(社)静岡県土木施工管理技士会 静岡支部
平井工業株式会社 山田 智弘

1.はじめに

国道1号静清バイパス4車線化工事に伴い、橋梁下部工を行った。

工事概要

工 事 名	平成21年度 1号静清東瀬名地区下部工事			
発 注 者	国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所			
工 事 場 所	静岡市葵区瀬名川2丁目～東瀬名町			
工 事 内 容	道路土工	1式	区画線工	1式
	RC橋脚工	1式	道路植栽工	1式
	舗装工	1式	道路付属物施設工	1式
	排水構造物工	1式	構造物撤去工	1式
	縁石工	1式	仮設工	1式
	防護柵工	1式		

2.工事における問題点

現状の交通状況と施工ヤードでは、施工が困難であり、大規模な交通処理が必要となった。下記の3点がその理由である。

1)仮設工施工位置が側道に位置するため、交通処理が必要であった。

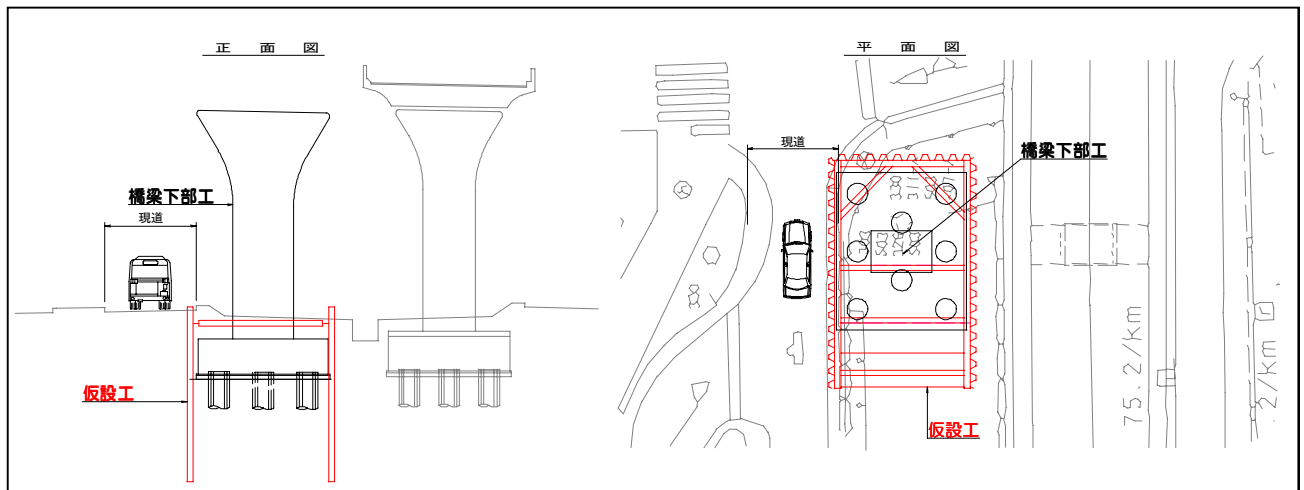


図-1 仮設図

2)場所打杭工に要する施工ヤードの確保が必要であった。

場所打杭工の施工には、下記にあるような建設機械、資器材及びヤードが必要となるため、当初予定していたヤード内での施工は困難であると判断した。



写真-1 使用資機材

3)隣接する工事(橋脚下部工事2件)と調整を図る必要があった。

橋梁下部工事(全14基、L=550m)を3社で同時期に行うため、交通規制は各社において調整・協力することで、大規模に行う必要があった。

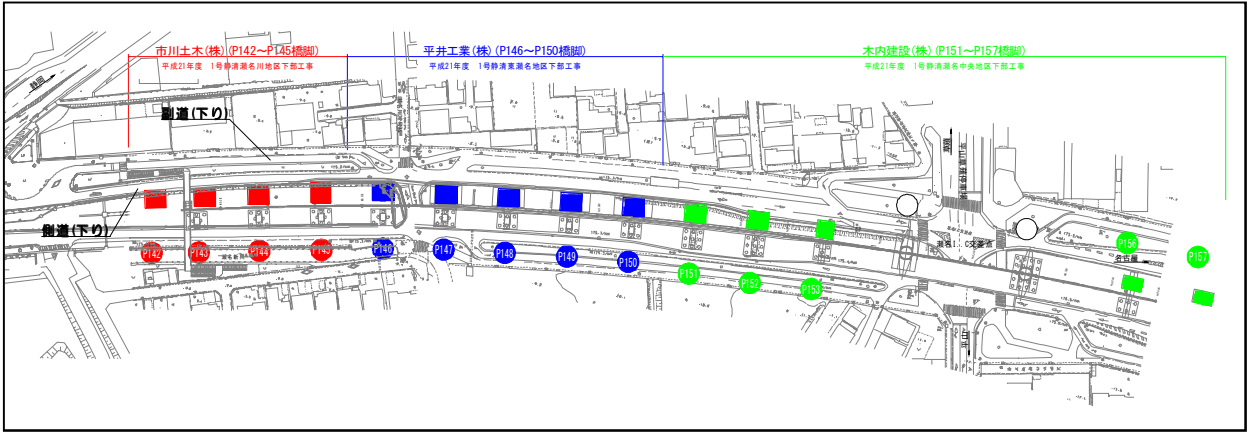


図-2 平面図

3.解決策

側道の通行止めによる副道への切り回し

現状の車両通行帯である側道を通り止めとし、車両の通行を副道に切り回すことで、側道での仮設工の施工が可能になった。また、通行止めとした側道を施工ヤードとして利用することが出来た。

また、交通規制の範囲は3工事(全14基、L=550m)の全区間とし、同時期に行うことで交通の混乱を避けることが出来た。

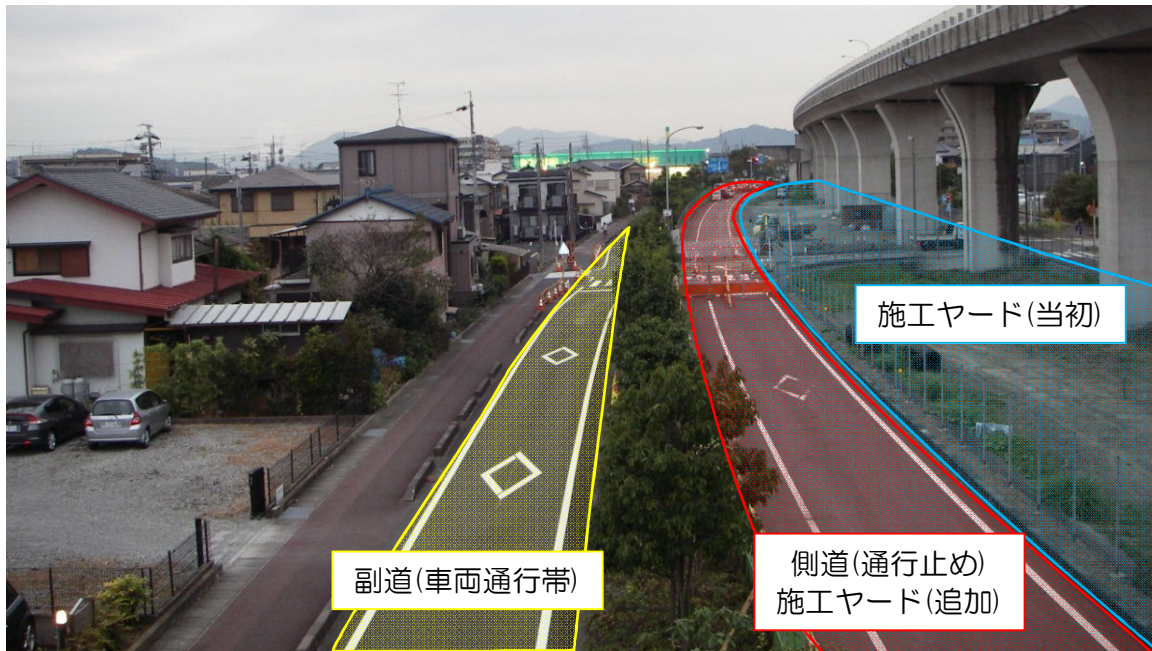
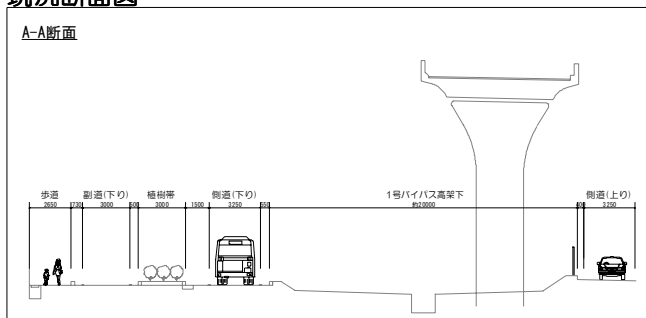


写真-2 交通規制状況

現況断面図



交通規制後断面図(副道切廻し後)

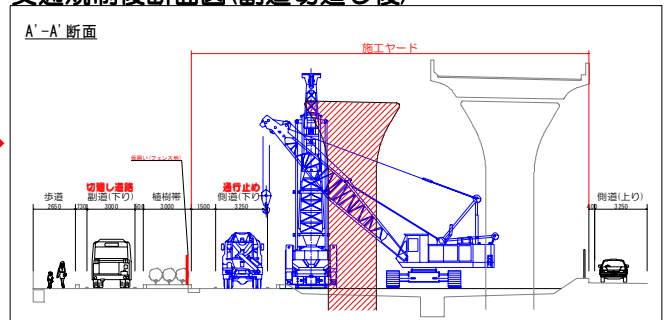


図-3 交通規制計画断面図

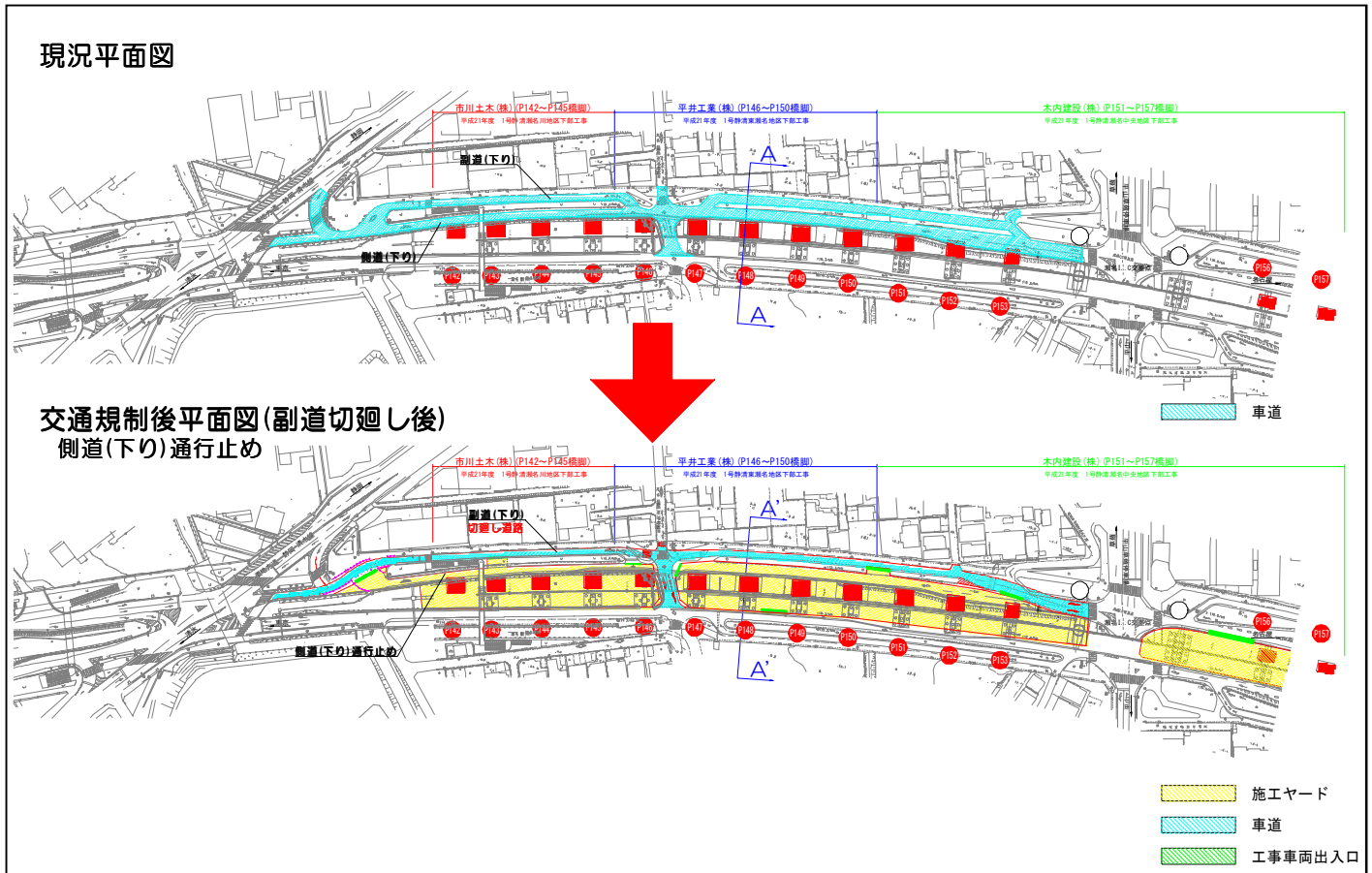


図-4 交通規制計画平面図

結果

- 1)交通規制後も、交通車両の通行は円滑に流れ、交通事故ゼロで工事を終えることが出来た。
- 2)各工事現場共に、良好な施工ヤードを確保することが出来た。
- 3)近隣の住民の方たちからの苦情やトラブル等は無く、工事を終えることが出来た。

4.おわりに

今回の工事は、国道1号静岡バイパスの4車線化工事に伴う橋梁下部工事であり、静岡県民の生活に深く関わる幹線道路の渋滞を解消するための重要な工事に参加させてもらうことが出来ました。

この工事における、国道1号線の側道という交通量が多い道路での交通規制は、近隣の住民の方や警察又は発注者にご協力して頂くことで実現することが出来ました。多くの方々に支えられ、協力し築いた橋脚工事だと感じています。この経験を大切に、これからもこれまで以上に地域に貢献したいと思います。